

松本医療圏における松本市立病院の役割

資料2

1 松本医療圏の状況

松本医療圏

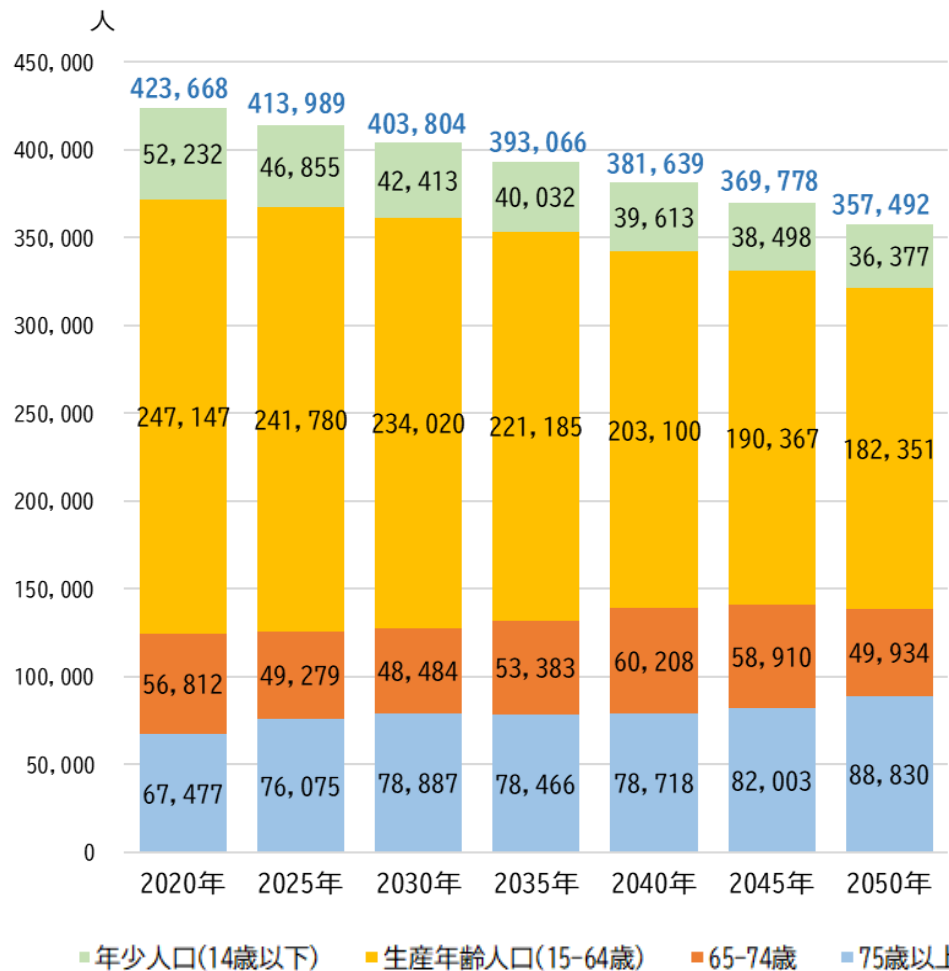
松本医療圏（松本市・安曇野市・塩尻市・山形村・朝日村・麻績村・生坂村・筑北村）の医療機関は、東部地域の市街地に集中している。



出典：jSTAT より作成
 ※令和5年度長野県病床機能報告より、高度急性期・急性期・回復期病床を有すると回答した病院を記載

人口推計

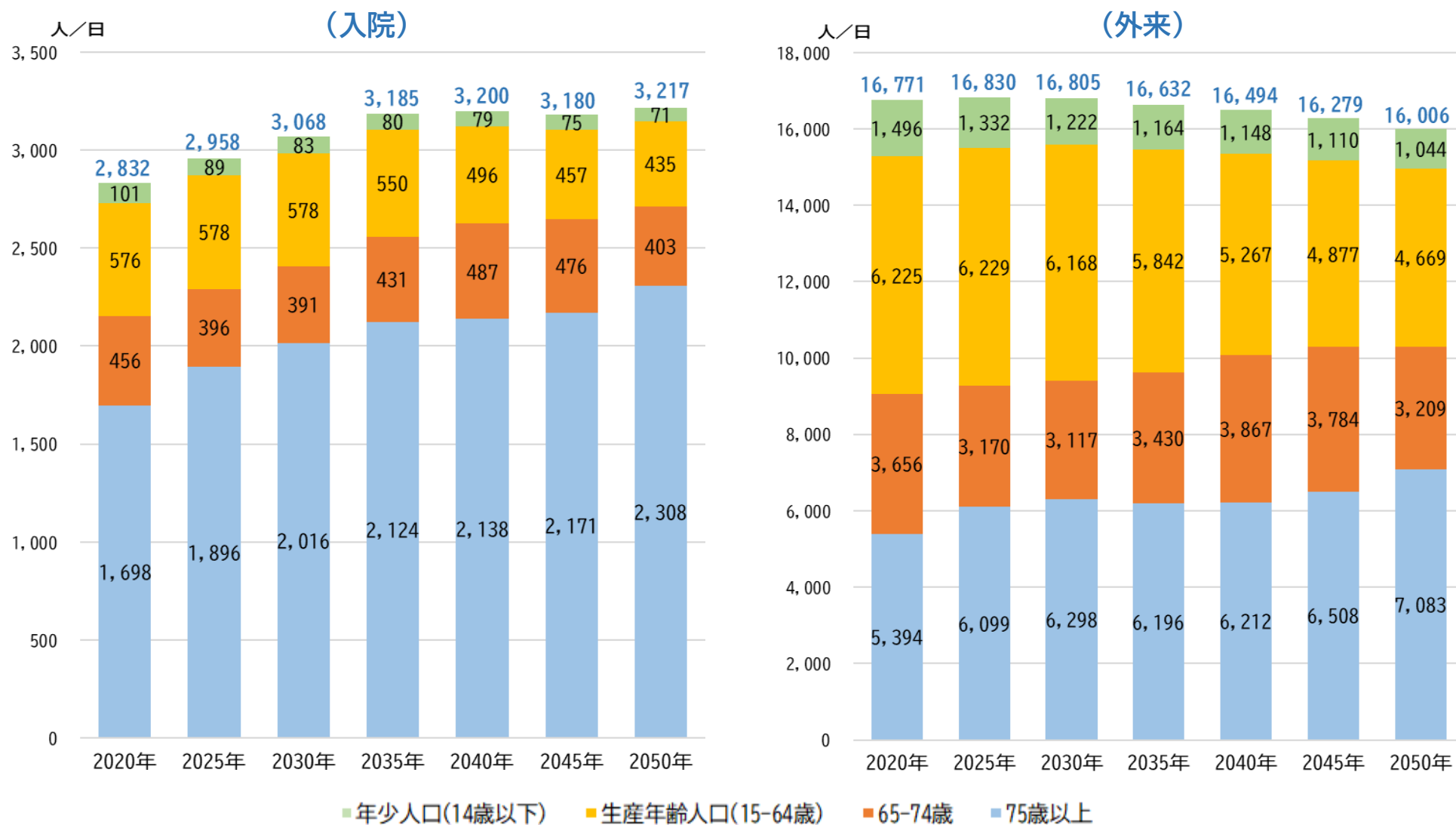
松本医療圏においても、総人口は減少する見込み。
 年少人口、生産年齢人口は減少していくが、65歳以上人口の前期高齢者、更衣高齢者の増加が見込まれる。



出典：日本の地域別将来推計人口 令和5年推計（国立社会保障・人口問題研究所）より作成

患者推計

2050年までの一日当たり患者数（患者需要）は、入院は増加、外来は減少が見込まれる。
75歳以上においては、高齢者の増加に伴い、入院、外来共に増加が見込まれている。

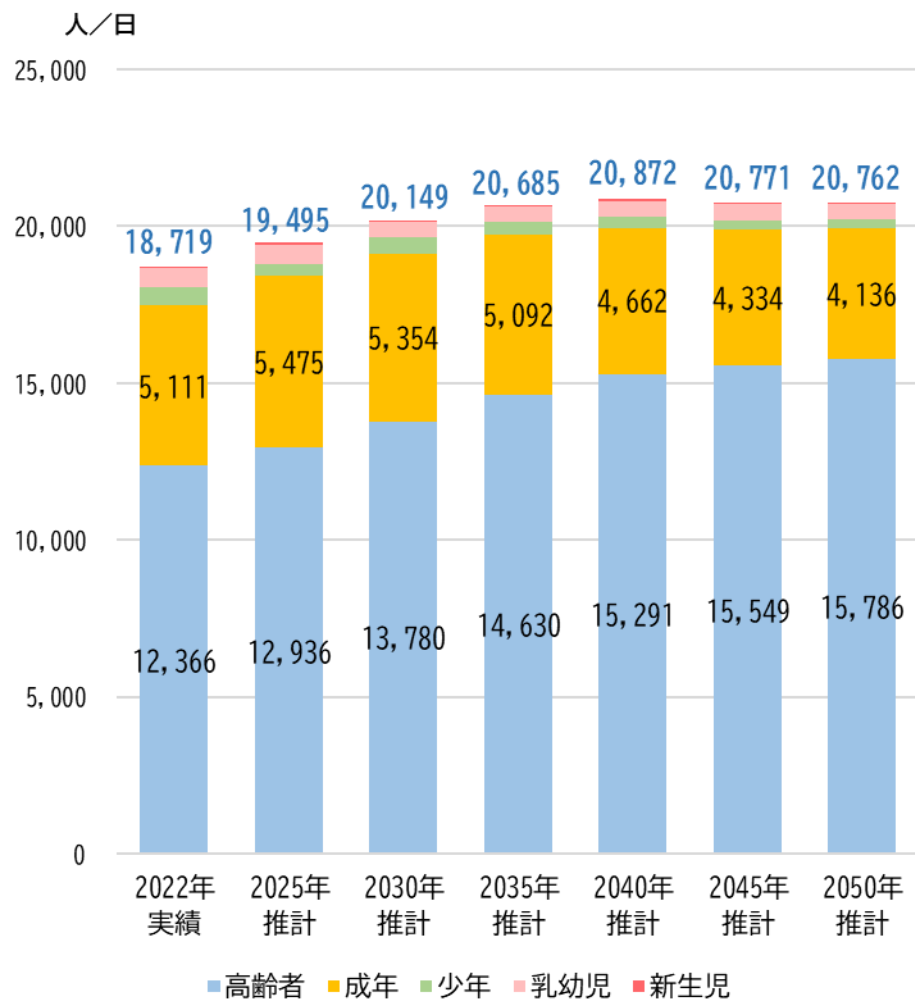


出典：令和6年度第2回松本医療圏地域医療構想調整会議の資料を基に作成

救急搬送将来推計

[年齢区分別の搬送人員数]

長野県の救急搬送件数は2040年まで増加し、搬送患者に占める高齢者の割合が年々増加することが予想される。



出典：令和6年度第2回松本医療圏地域医療構想調整会議の資料を基に作成

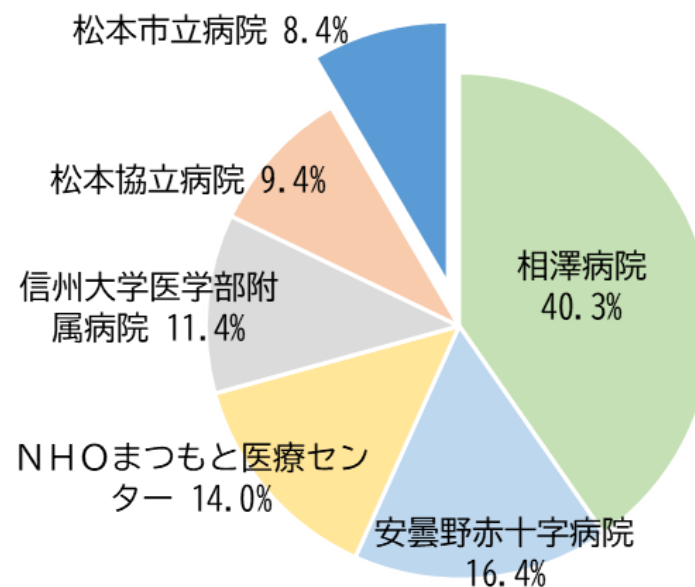
搬送件数

令和4年度の松本医療圏における搬送件数のうち、松本市立病院では約1割の受け入れを行っている。

今後、高齢者の増加に伴い、搬送件数は増加することが予想される。

医療機関名	搬送件数
安曇野赤十字病院	2,773
松本協立病院	1,592
NHOまつもと医療センター	2,362
相澤病院	6,805
信州大学医学部附属病院	1,929
松本市立病院	1,423

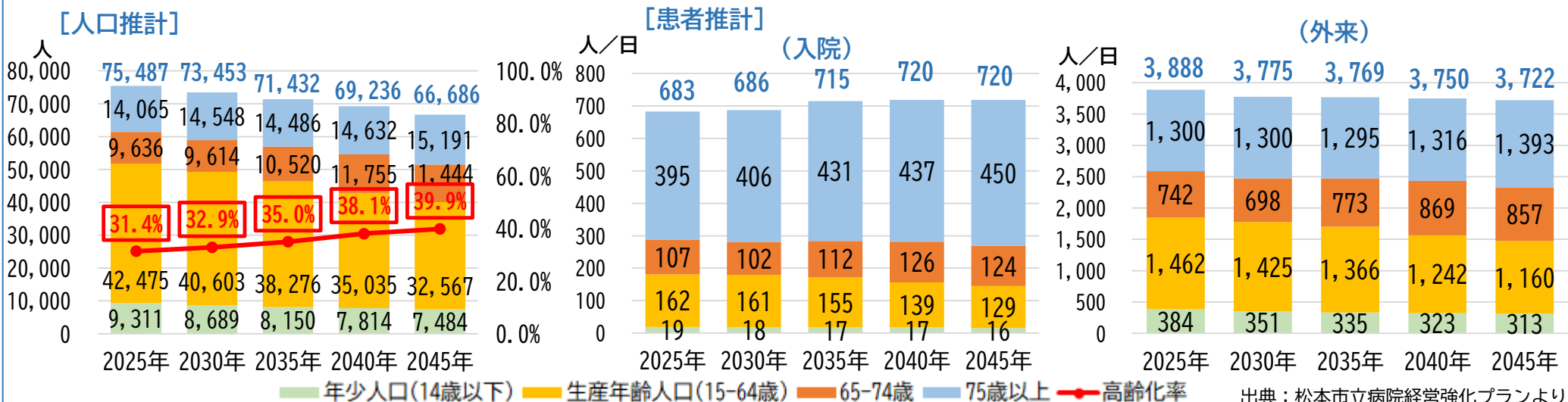
出典：令和6年度第2回松本医療圏地域医療構想調整会議を基に作成



2 松本市立病院の状況

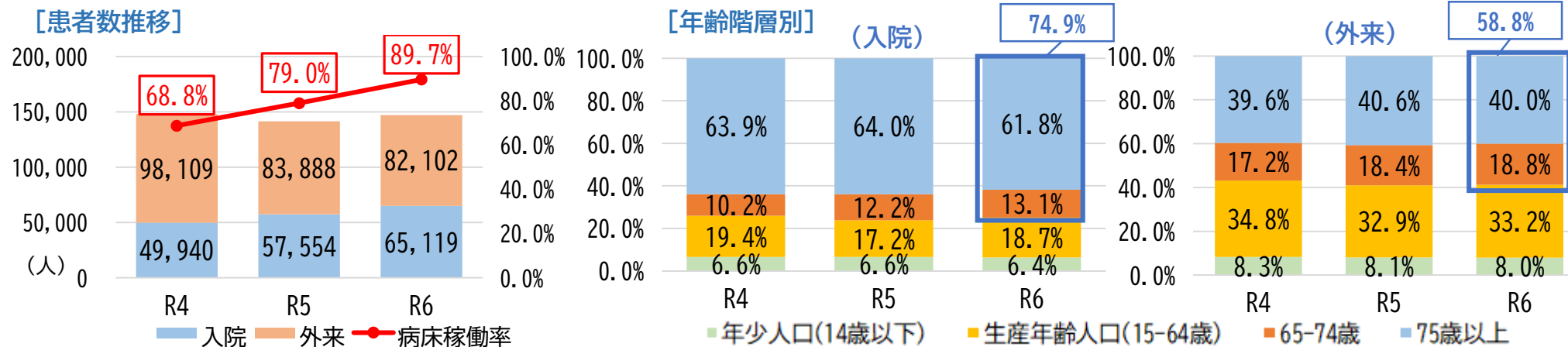
診療圏人口推計・患者推計

当院が想定する診療圏（※）では松本医療圏全体より少子高齢化の進捗は早いと見込んでいる。



患者数実績

年齢階層別では、入院・外来ともに75歳以上の利用者が一番多い状況にあり、65歳以上では入院は7割強、外来は約6割となっている。



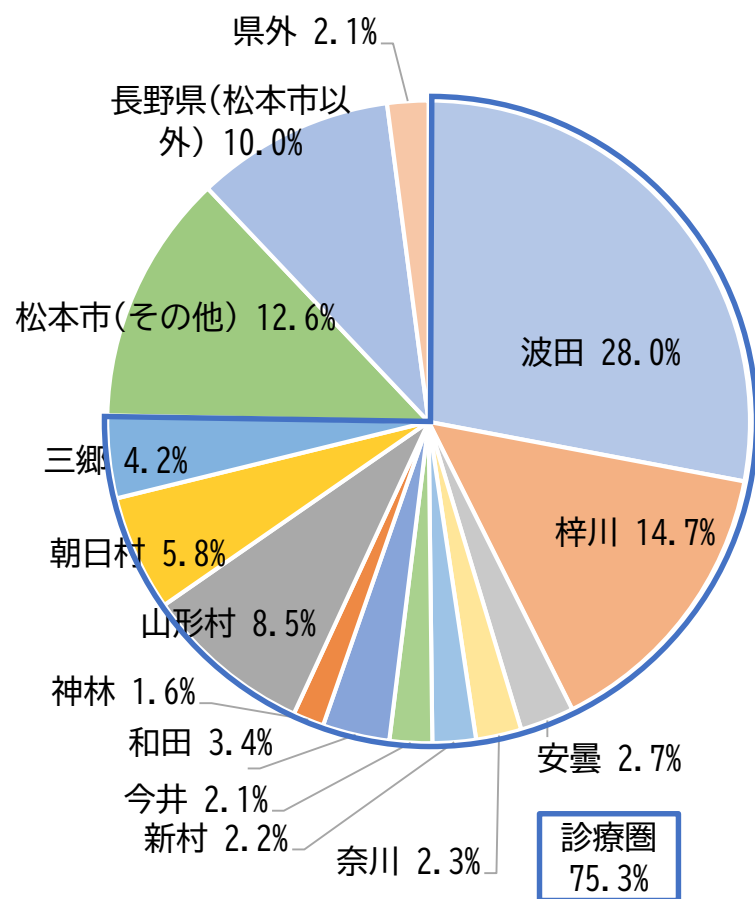
出典：SSIScope よりレセプトデータ件数をもとに作成

※松本市（安曇・奈川・波田・梓川・新村・和田・神林・今井）、安曇野市（三郷）、山形村、朝日村

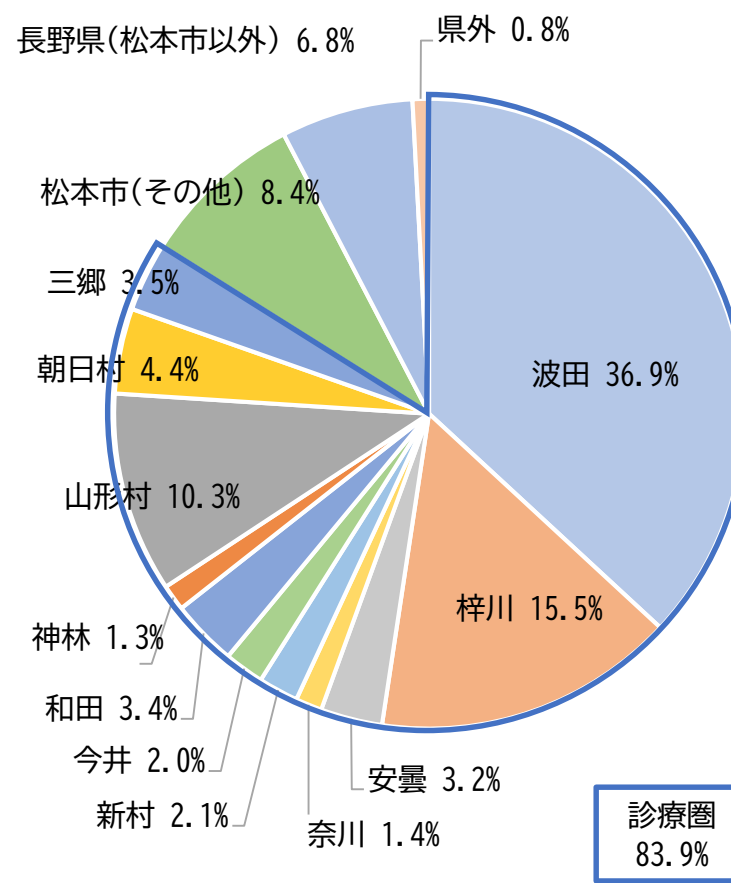
地域別患者数

令和6年度に松本市立病院を受診した患者数全体に占める診療圏の患者割合は、入院が約8割弱、外来は約8割強を占めている。

[入院]



[外来]



※出典：SSIScope より R6 レセプトデータをもとに作成

疾病別受診状況

令和6年度の退院患者の疾病別では、「2 新生物」が19.0パーセントと最も多く、次いで、「19 損傷、中毒及びその他の外因の影響」13.7パーセント、「10 呼吸器系の疾患」13.3パーセント、「11 消化器系の疾患」12.3パーセントとなっている。

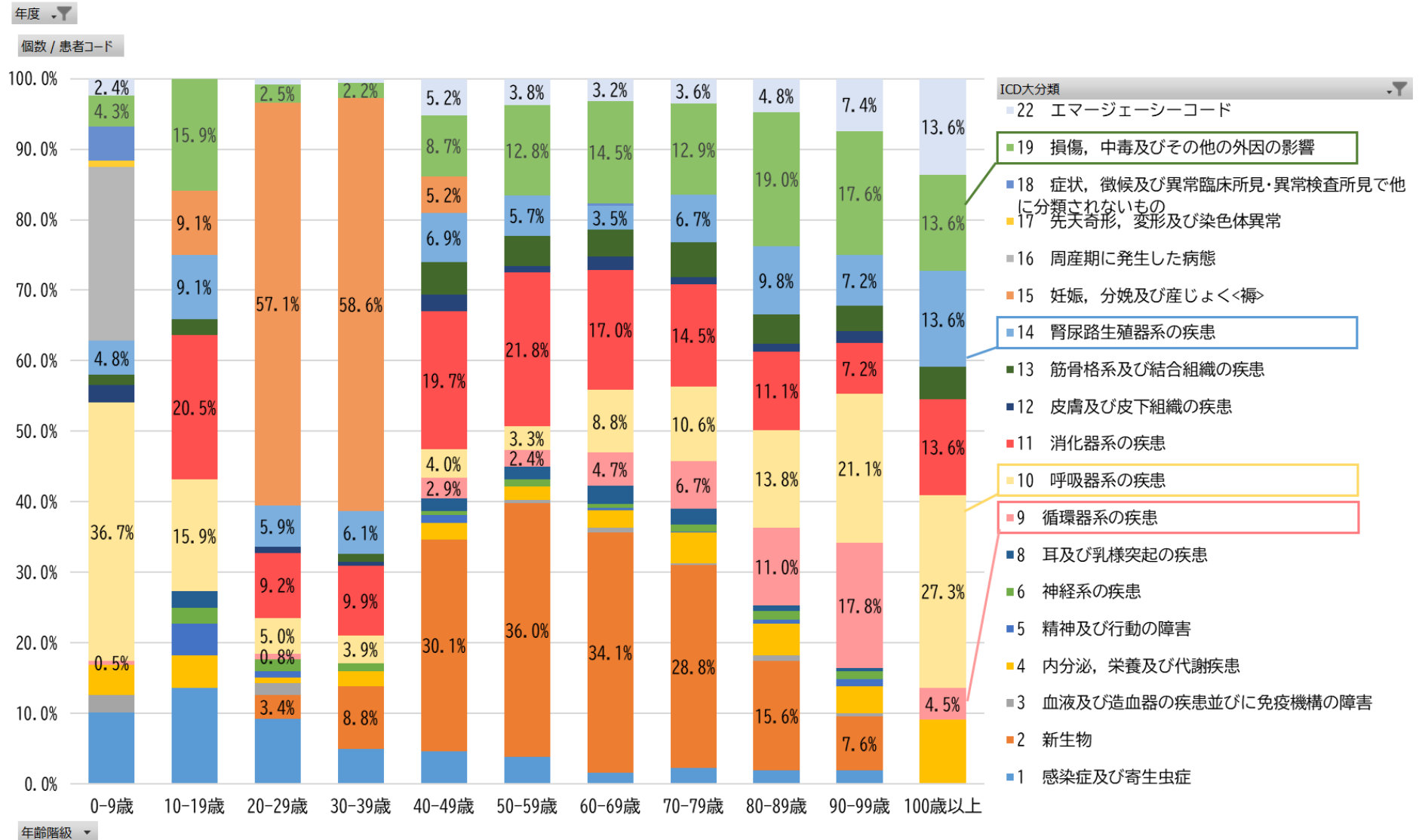


※出典：R6 退院患者データをもとに作成

年度2 ▾

年齢別疾病別受診状況

令和6年度の年代別疾病状況では、60歳以上の受診者では、「0～9歳」を除き、年齢が上がるにつれ「9 循環器系」、「10 呼吸器系の疾患」、「14 腎尿路生殖器系の疾患」、「19 損傷、中毒及びその他の外因の影響」の受診割合が高くなっている。



※出典：R6 退院患者データをもとに作成

役割（医療機関の指定状況）

松本市立病院は、第3期信州保健医療総合計画では、5疾病6事業及び在宅医療を担う機能別医療機関として、次のように位置づけられている。

5疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患・糖尿病・精神疾患）

医療機関略称	がん				脳卒中		心筋梗塞等の心血管疾患		糖尿病	精神疾患
	がん診療連携拠点病院	緩和ケア	外来化学療法	リハビリ	急性期（救急医療）	回復期（リハビリ）	急性期（救急医療）	回復期（リハビリ）	専門的治療	精神病床
信州大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
相澤病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
NHOまつもと医療センター			○	○		○		○		
安曇野赤十字病院			○	○	○	○	○	○	○	
長野県立こども病院		○	○	○		○	○	○	○	
松本協立病院			○	○		○	○	○	○	
丸の内病院		○	○	○		○		○		
松本市立病院			○	○		○		○	○	
上條記念病院						○				
穂高病院						○				
桔梗ヶ原病院						○				
城西病院						○				○
塩尻協立病院						○				
松本中川病院						○			○	
一之瀬脳神経外科病院					○	○			○	
藤森病院				○		○				
中村病院						○				
相澤東病院						○				
塩尻病院						○				
松南病院										○
松本歯科大学病院						○				

出典：「第3期信州保健医療総合計画－第8次長野県保健医療計画－別冊 機能別医療機関」を基に作成 令和6年(2024年)10月1日現在
掲載している医療機関は、一般・療養病棟を持つ地域医療構想の対象となっている30床以上の病院に限る。

役割（医療機関の指定状況）

6事業（救急医療・災害医療・新興感染症・へき地医療・周産期医療・小児医療）及び在宅医療

医療機関略称	救急医療				災害医療	新興感染症	へき地医療	周産期医療		小児医療			在宅医療
	三次救急	二次救急	急性期後の医療		地域災害 拠点病院	第二種 感染症指定 医療機関	へき地医療 拠点病院	地域周産期 連携病院	周産期 母子医療 センター	地域連携 病院	地域医療 センター	中核病院	在宅療養 支援病院
	救命救急 センター	輪番病院	回復期 リハ病棟	地域包括 ケア病棟									
信州大学医学部附属病院	○				○				○			○	
相澤病院	○	○	○		○			○		○			
NHOまつもと医療センター		○		○							○		
安曇野赤十字病院		○	○	○						○			
長野県立こども病院									○			○	
松本協立病院		○		○						○			○
丸の内病院		○		○				○					○
松本市立病院		○	○	○		○	○	○		○			○
上條記念病院				○									○
穂高病院				○									○
桔梗ヶ原病院			○	○									
城西病院			○							○			○
塩尻協立病院				○						○			○
松本中川病院			○										
一之瀬脳神経外科病院		○	○										
藤森病院		○		○									○
中村病院				○									○
相澤東病院				○									○
塩尻病院				○									○
松南病院													
松本歯科大学病院													

令和6年(2024年)10月1日現在

出典：「第3期信州保健医療総合計画－第8次長野県保健医療計画－別冊 機能別医療機関」を基に作成
掲載している医療機関は、一般・療養病棟を持つ地域医療構想の対象となっている30床以上の病院に限る。

松本市立病院が担う政策医療

1 救急医療

二次救急医療機関の輪番制病院として救急患者の受入れを行っている。
救急搬送件数は、令和3年度までは年間約1,000件の受入れを行っていたが、令和4年度からは約1,400件と大きく増加している。

2 新興感染症

松本医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関として、感染症病床を6床備え、感染症医療の拠点として役割を担っている。

新型コロナウイルス感染症流行時には、長野県内で最初に患者の受入れを行い、令和2年2月から令和5年5月までの期間において外来で2万5,707人、入院1万6,719人の感染症患者を受け入れた。

出典：松本市新型コロナウイルス感染症対策本部「新型コロナウイルス感染症対策の記録」より

3 へき地医療

へき地医療拠点病院として、医療資源が少ない地域の医療を支えるため、国保奈川診療所、塩尻市の国保檜川診療所等へ医師及び看護師の派遣を行っている。

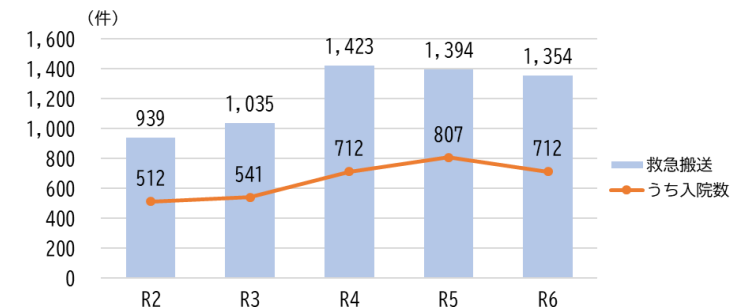
4 周産期医療

産科診療機能の見直しによる分娩機能の廃止に伴い、今後は「中信地域出産・子育て安心ネットワーク」の中で「健診協力医療機関」として、地域で出産を予定される妊婦の方々を支援していく。

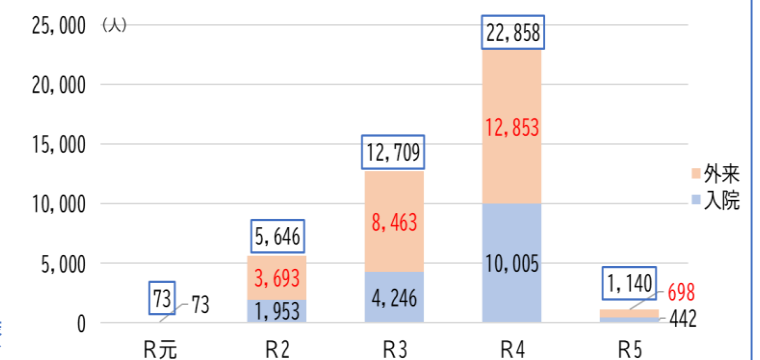
5 小児医療

松本西部地域を中心とした小児初期救急医療に対応するほか、松本市の政策と連携し、医療的ケア児、発達障がい児等への支援を行っている。

救急搬送件数の推移



新型コロナウイルス感染症受入患者数



出典：松本市ホームページより（奈川診療所）